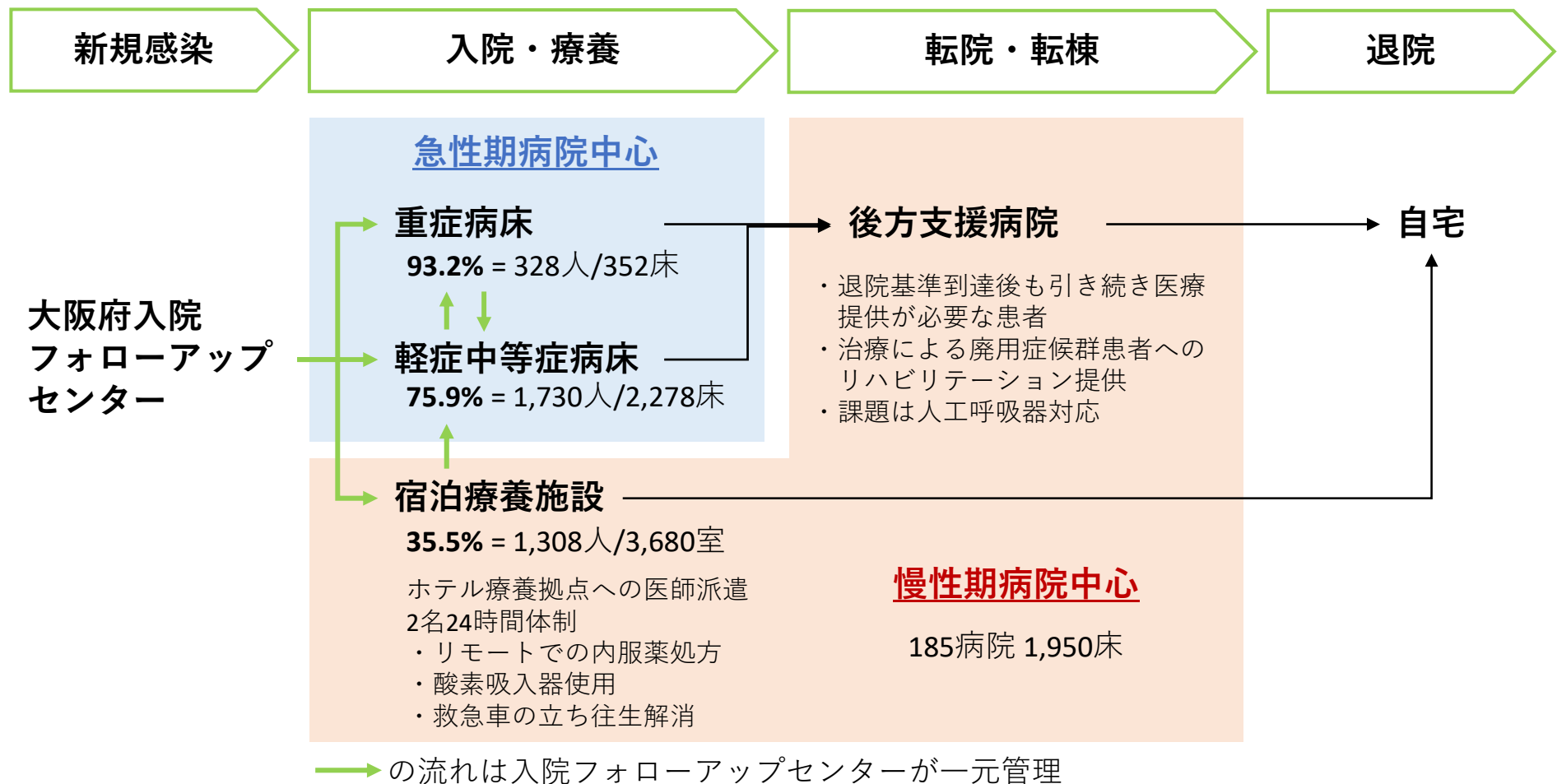


大阪府慢性期医療協会は
新型コロナウイルス感染症とどう向き合っているか

新型コロナウイルス感染症への慢性期病院の取り組み（大阪府慢性期医療協会）

コロナ患者対応は、受入病床の拡充だけではない。受入病床を機能させるため、宿泊療養施設での医療提供や受入病床からの速やかな転院・転棟も不可欠。

医療機関の機能を活かした提供体制（5/17現在）



慢性期病院でのコロナ患者受入の課題

行政からの支援は手厚く、施設・設備の整備は可能
コロナ患者受入の最大の課題は、感染症経験のある人材の確保

コロナ受入病床整備に必要な資源と支援体制

時期	必要資源	主な課題	行政による主な支援
整備前	施設	ゾーニング (感染非感染の区分け)	設備整備支援
	設備	人工呼吸器など	病床確保 (休床補償)
	人材	医師、看護師等の数、経験	人的支援 (手当、宿泊費等)
整備後		軽症中等症病床での重症化患者の対応	

その他、後方支援病院への協力金、
PCR検査機器補助など支援メニュー多数

リハビリテーション病院でのコロナ患者受入例

プレハブ型のコロナ病棟



病室



(千里リハビリテーション病院)